

## 石垣島・西表島の観光について

沖縄県立八重山商工高等学校一年 中川 咲穂

私は、京都で生まれ、約10年間京都で過ごした後、沖縄の西表島に引っ越してきました。今は、石垣の高校に通う為、学寮に入って平日は石垣で暮らし、休日は西表に帰省するという日々を送っています。観光客と住民の両方の視点を持っている私から、石垣島と西表島の良いところと悪いところについて、お話したいと思います。

まず、石垣島と西表島の良いところは、海がとても澄んでいて綺麗なところだと思います。私は初めて石垣島に来た時、こんなに澄んでいる海があったのだと、その透明さにとても驚きました。そして海は、時や場所、海の深さによって、同じ青色とは言えど、その濃さや色の種類が違います。実際、フェリーで石垣島から西表島へ渡航する時、竹富島や小浜島の前を通過するのですが、潮の満ちているときやそうでないとき、天候などでも海は全く違う青色を見せます。

次に、西表島は天然記念物が多く住んでいる島です。西表島は石垣島と比べると、商業施設が圧倒的に少ないです。あるとすれば、夜9時で閉まるスーパーが区域ごとにちらほらあるのと、観光客用のホテルや民宿、レストランぐらいで、コンビニや映画館などはありません。そのため、ショッピングなどが目的で観光をする人にはあまり向いていないですが、自然に癒しを求めて観光に来る人には絶好の島です。まず、春や夏になると、アカショウビンの綺麗な鳴き声が聞こえてきます。運がよければ、真紅の羽根に身を包んだアカショウビンの姿を見ることができます。雨が降れば、土から出てきたミミズなどを食べるため、信柱の上から獲物を探すカムリワシの姿があります。その他にも、セマルハコガメやシロハラクイナなど、八重山諸島にしかいない動物がいます。植物は、初夏になると甘酸っぱいピーチパイナップルが旬です。島で直接育てているので、安いものは50円から、とれたてのピーチパイナップルを味わうことができます。その他にも島豆腐やハブ料理など、普段はなかなか味わえない食べ物を味わうことができます。

そして石垣島は、自然を求めて観光に来る人と、ショッピングが目的で観光に来る人の、両方が満足できる観光地だといえます。西表島ほどではなくても、石垣島には川平湾や野底マーペーといった自然を感じる事ができる場所や、西表島にも生息する動物もいます。そして、石垣港付近は特に栄えていて、最近では新しいショッピングモールのような施設も730交差点に完成し、これからはもっと、ショッピングも自然観光も楽しむ事が出来る観光地になっていくと思います。

そして、何より八重山諸島の観光を支えているのが、島の人々の温かさだと私は思います。私が初めて西表島に来て、右も左も分からない時、島の同級生や中学校の先生にたくさん助けってもらったり、八重山の文化を教えてもらったりしました。私はその時のことを未だに覚えていますが、辛い時も優しく接してくれた島の方々には本当に感謝しています。たとえ数

日間の観光であったとしても、純粋な島の人々の温かさは、すぐに分かると思います。

しかし良いところばかりがあるわけではありません。石垣島と西表島は、あまり交通の整備がされておらず、西表島は運転慣れしていないと事故に遭ってしまうようなカーブなどがあり、実際に事故に遭った、ということも時々耳にします。石垣島においては、歩道の幅が狭く、730交差点では歩道に人が歩いている中、同じ歩道に自転車が走っており、危うくぶつかってしまいそうになる光景をよく見かけます。また、私も石垣島で生活してみた分かったことなのですが、交差点などにあるコンクリート塀は、交差している道から走ってくる車や自転車、人が見え辛く、また、走ってくる車などもスピードを緩めずに走ってくるため、通学中などにぶつかりそうになり、とても怖いことがあります。こういった部分は、もっとスピードを緩めて、という警告の道路標識を増やしたり、できることなら工事をお願いして改善してもらうなどして、観光客の事故を防ぐだけでなく、島の人々のためにも直してもらいたいと思います。

そして、観光客の方々にはせつかく八重山に観光に来るのだから、八重山の歴史や文化にも、是非触れていただきたいです。理不尽な税金に苦しめられていたことや、戦争で、たくさんの方が命を失われたこと。強制疎開させられた人々も、物資の配給も無い状況で飢餓や病気に苦しみながら命を落としていったこと。私は八重山に来てから初めてこんな悲劇があったことを知りました。こんなことがあったという事実を決して忘れてはいけないと思うし、これから先も語り継いでいくべきだと思います。このような歴史を知ることによって、今生きていられるのは当たり前ではないことを改めて実感できるし、これからも今ある平和を守っていかうという意識も持つことができます。

私は八重山の島々、文化、自然、人々がとても大好きです。だからこそ、もっともっとより良い島になってほしいです。そして、観光に来るの方々には、たくさん島の自然や空気を感じて、満喫してほしいです。そして、従来の観光を楽しむのもいいけれど、八重山の歴史や文化に触れるのも、一つの経験として人生の糧になると思います。

そして私の夢は通訳案内士になって、八重山に観光に来た外国の人々を案内することです。そうすることで、今までお世話になった西表島の人々に恩返しできるのではないかと思うからです。その為に私は今英語や中国語、八重山のことについて勉強しています。通訳案内士になる夢を叶えられたら、ただ人を案内するのではなく、自然が豊かで暖かな雰囲気にも包まれたこの島々の魅力を伝えられる人になりたいです。そのために、これからの高校3年間は、自分の夢を叶えるための努力の時間にしたいです。